

東京大学総合研究博物館特別展示予告

「家畜 —愛で、育て、屠る—」

遠藤秀紀 展示監督作品

開催場所：東京大学総合研究博物館本館

開催予定期間：2019年3月2日から6月30日まで

休館日：月曜日（ただし月曜が祝日の場合は翌日火曜）

人間とともに歩む生命、家畜。私たちは、家畜を知ろうと、各地でフィールド調査を続けている。世界の様々な家畜品種の標本を見つめ、伴侶として人間の期待を満たしてきた家畜たちの姿と、家畜を飼い続ける人間との間柄に迫る。

出演

昭和平成を生きた極小馬

一九七九年、皇太子にアルゼンチン大統領から贈られた二頭の馬がいた。南米原産ファラベラ種。世界最小の馬である。昭和から平成を生き、「天皇の馬」として親しまれながら、二頭は天寿を全う。いま、博物館で第二の生涯を歩み始める。

巨大牛来たる

生きた家畜の博物館、イタリア半島。受け継がれているのは、特異な遺伝子を隠しもち、独特の農村社会に暮らす珍しい家畜たちだ。そこには、世界最大そして幻の巨大牛が、今日も生きている。

休日の展示監督

思えば、監督遠藤秀紀が悩むのは、家畜の生き様だ。なぜ創られ、なぜ愛され、なぜ受け継がれるのか。標本を前に動物講話を愉しみたい。

ほか